

祇園閣



それは……

大倉喜八郎翁と

伊東忠太博士の残したものの。



高台寺境内より



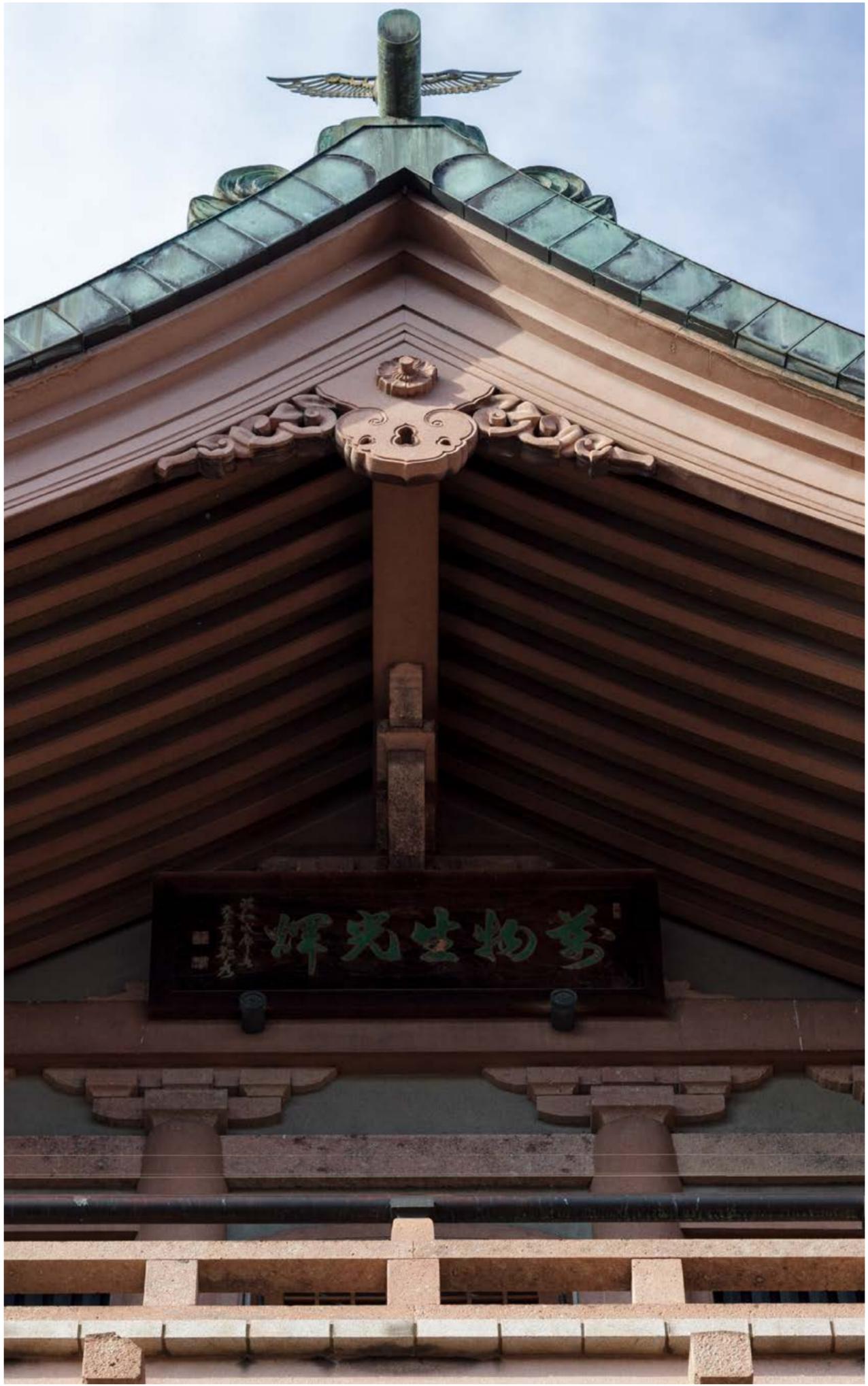


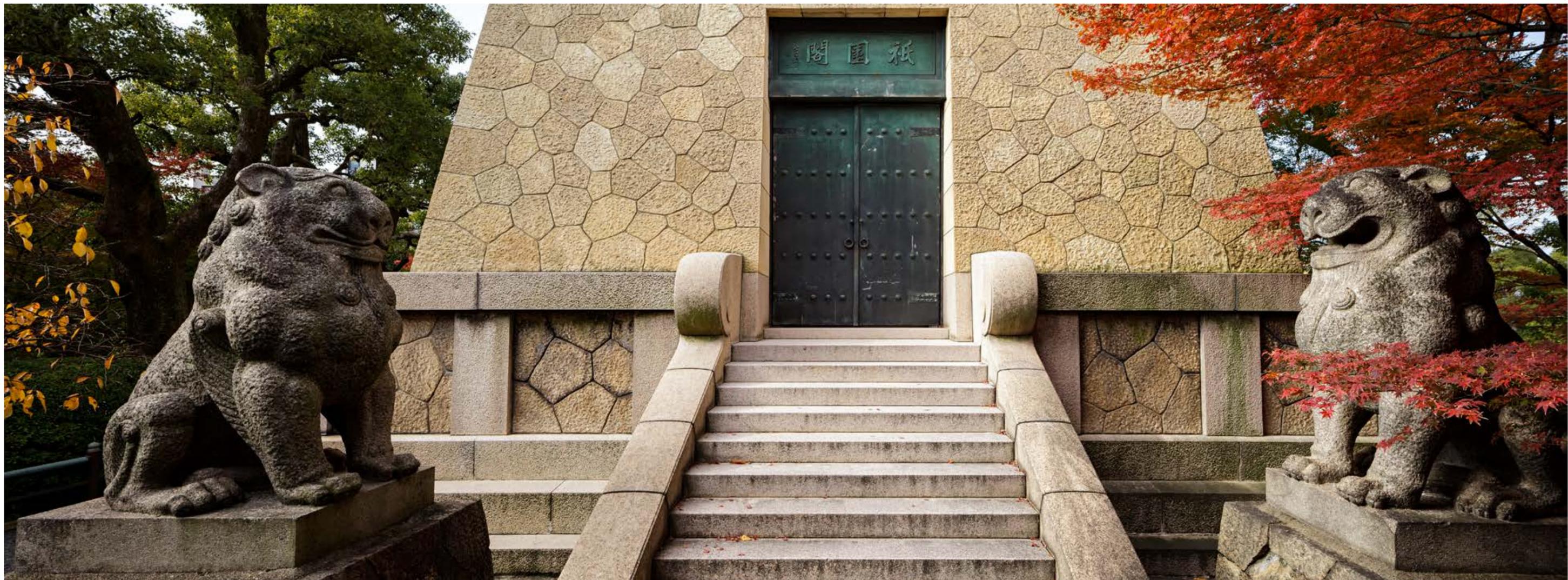


頂上鶴



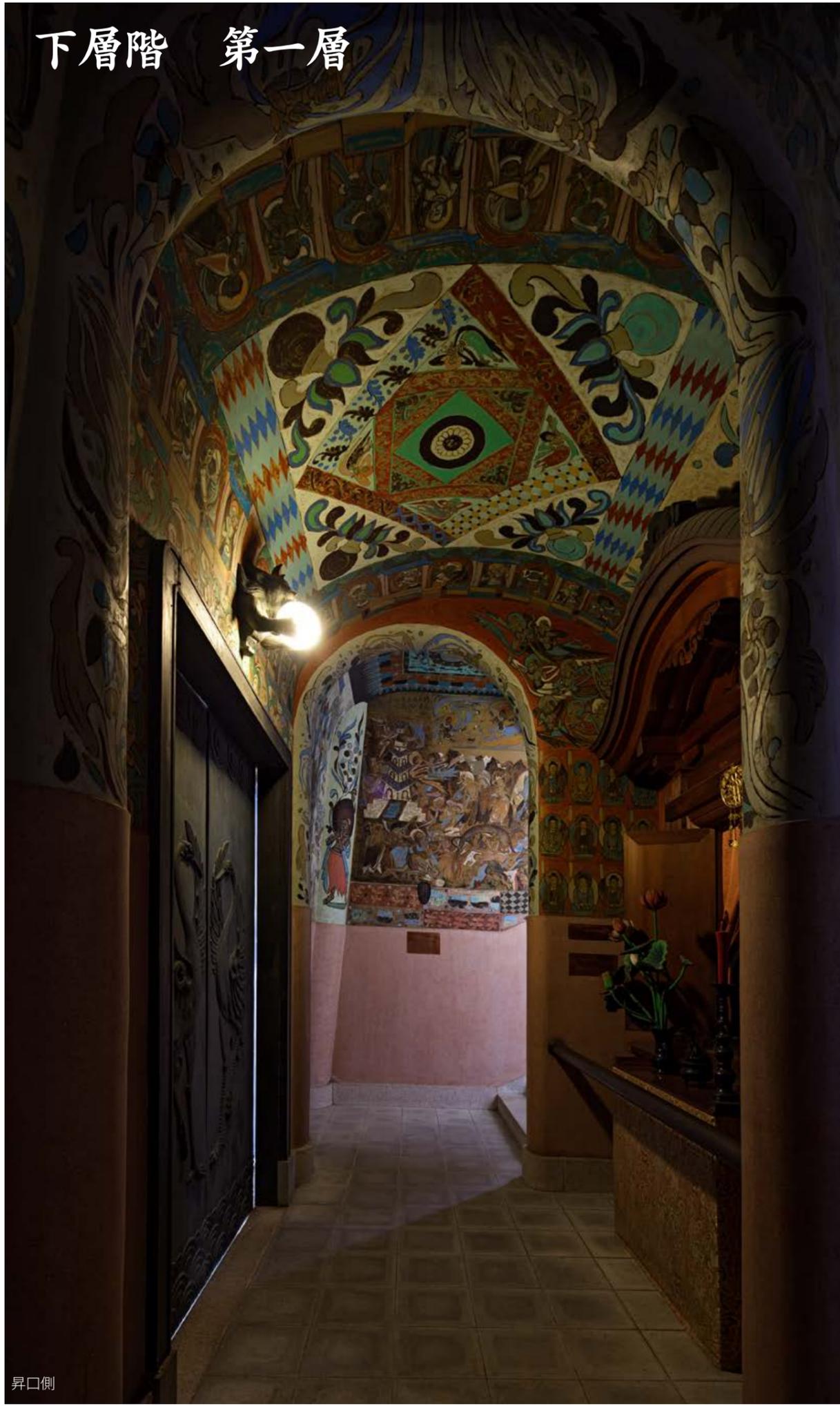




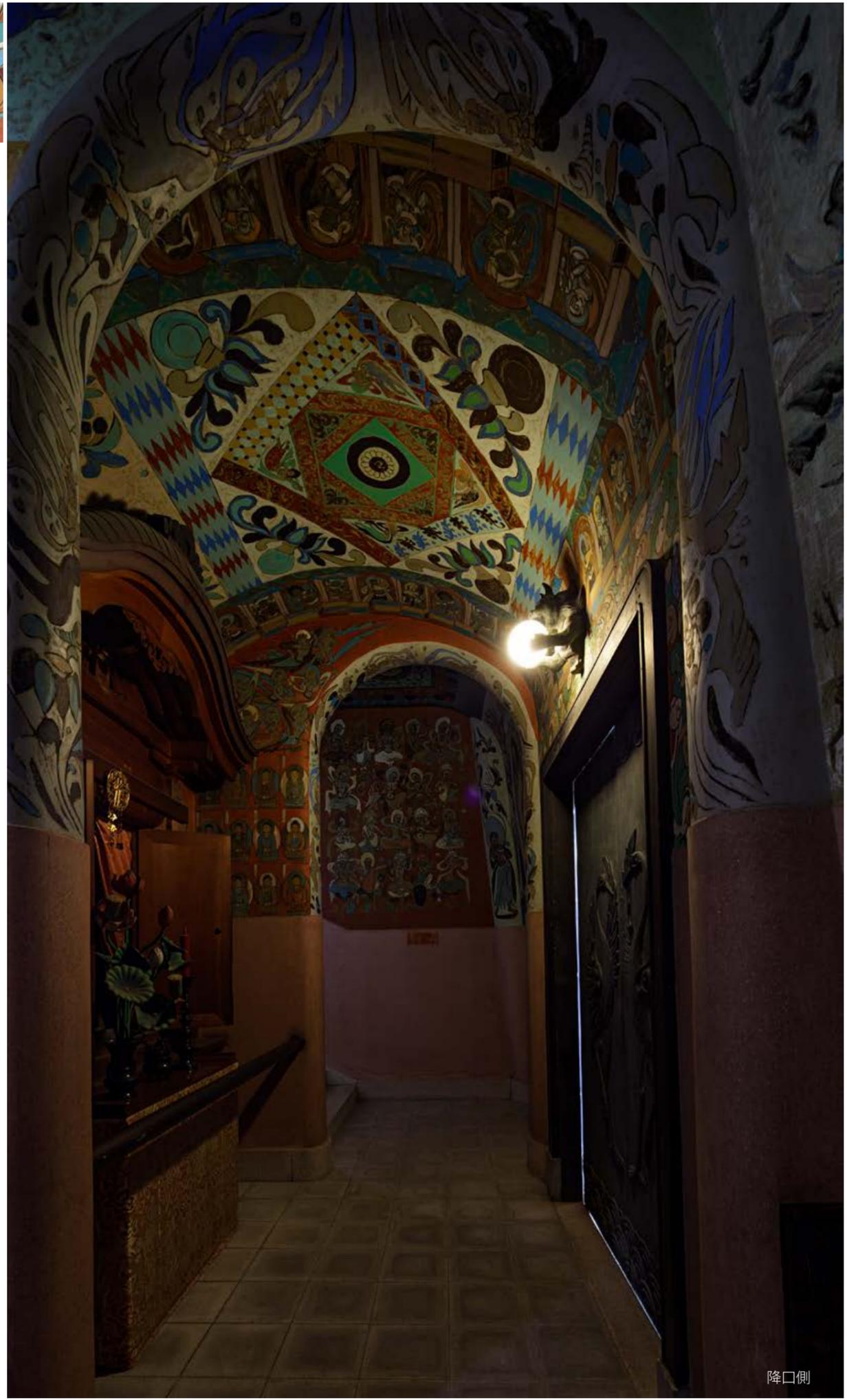
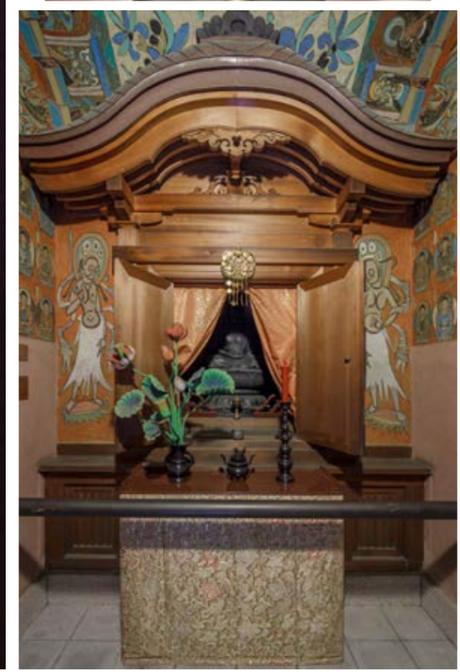
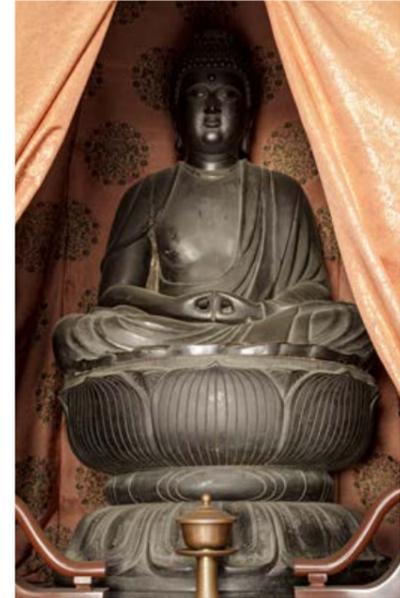




下層階 第一層



昇口側



降口側

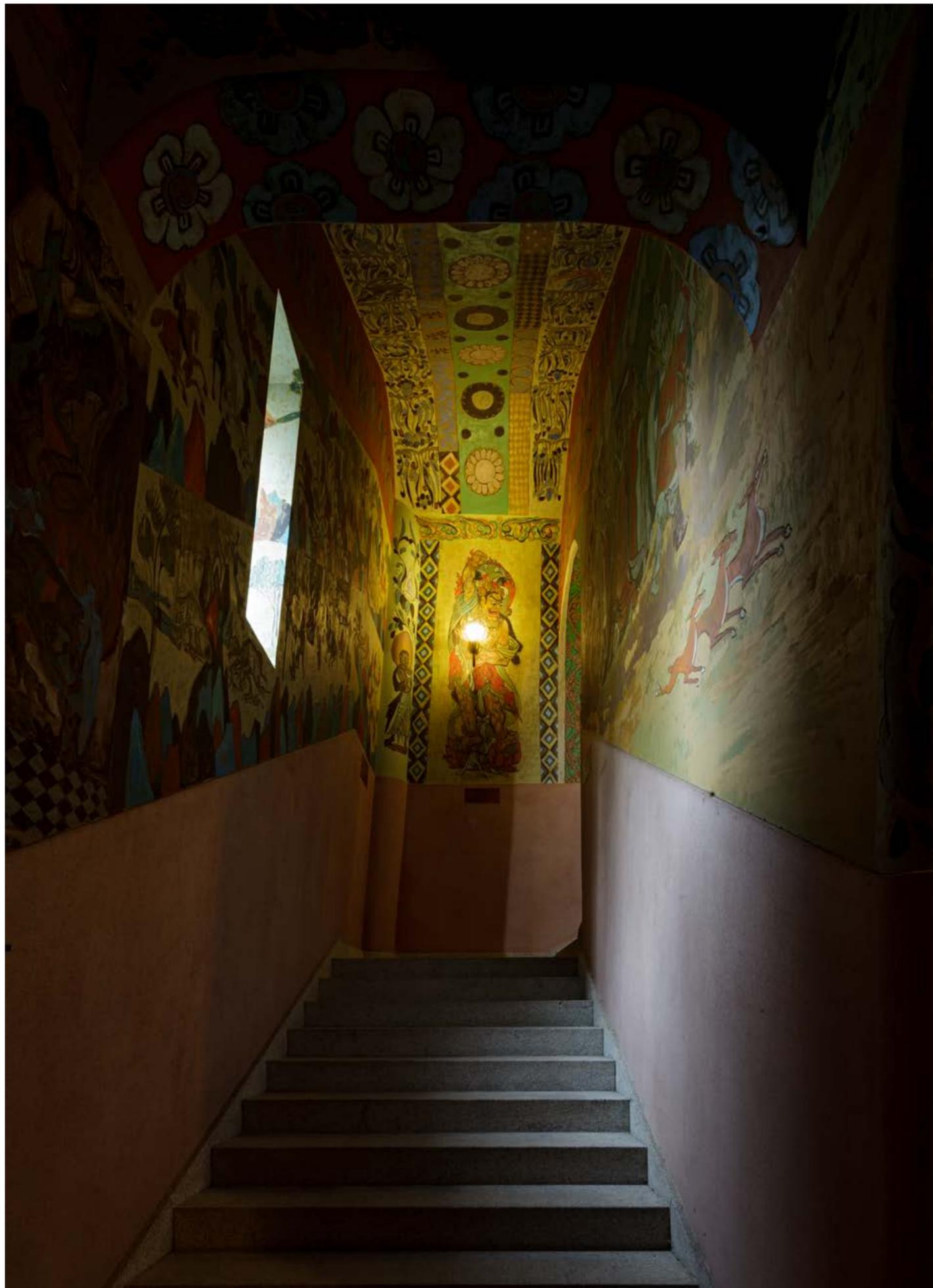




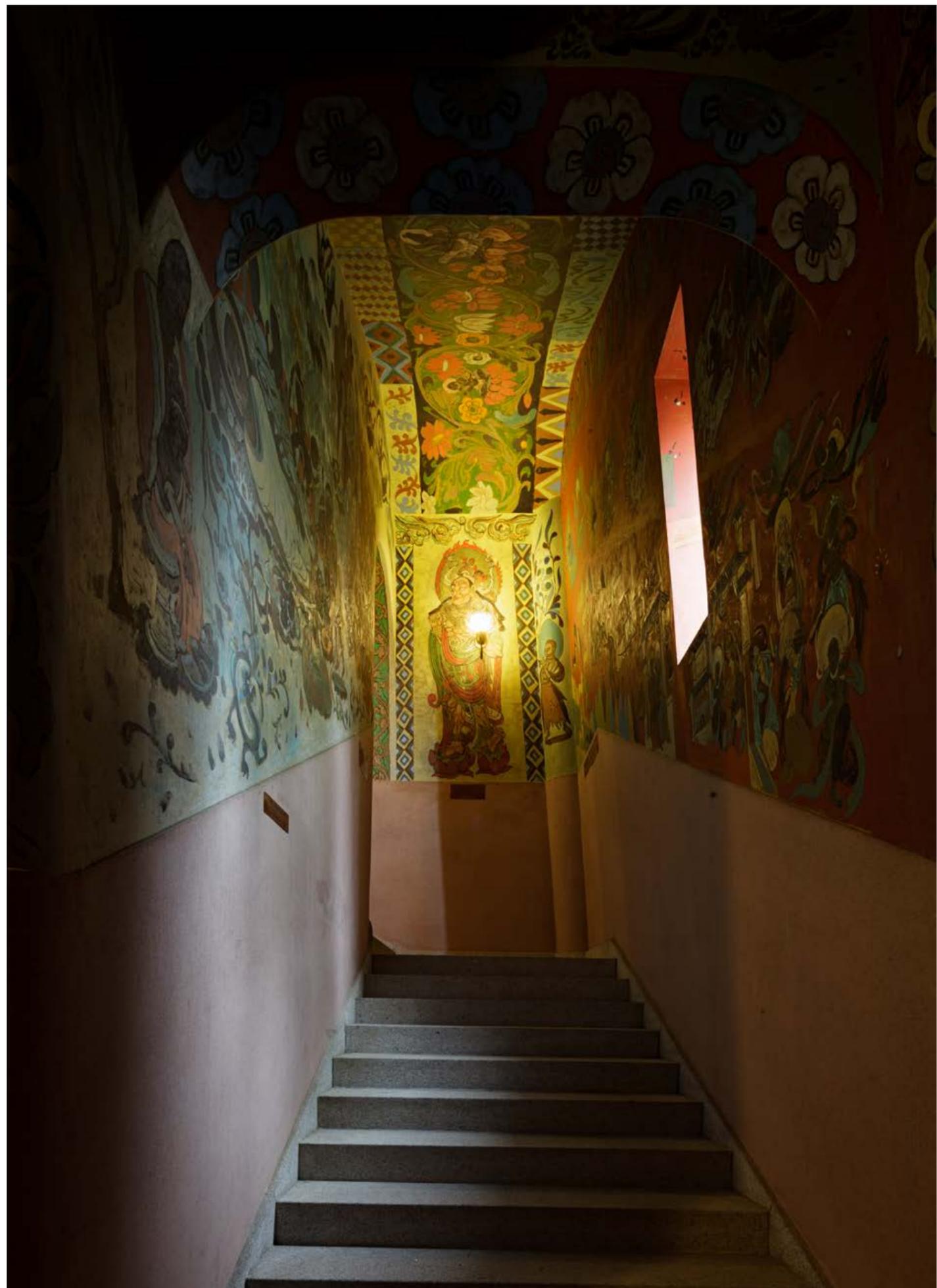
下層階 見上げ

階段 下層部

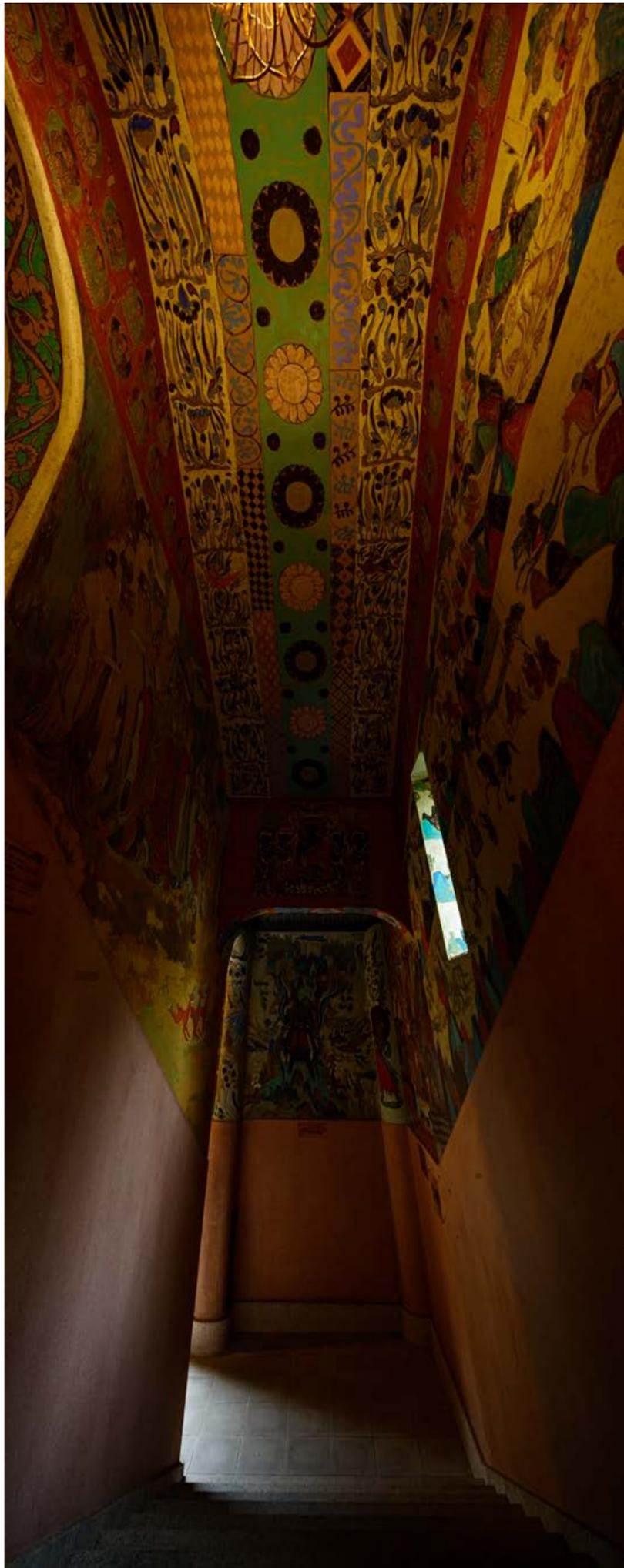
昇口側階段



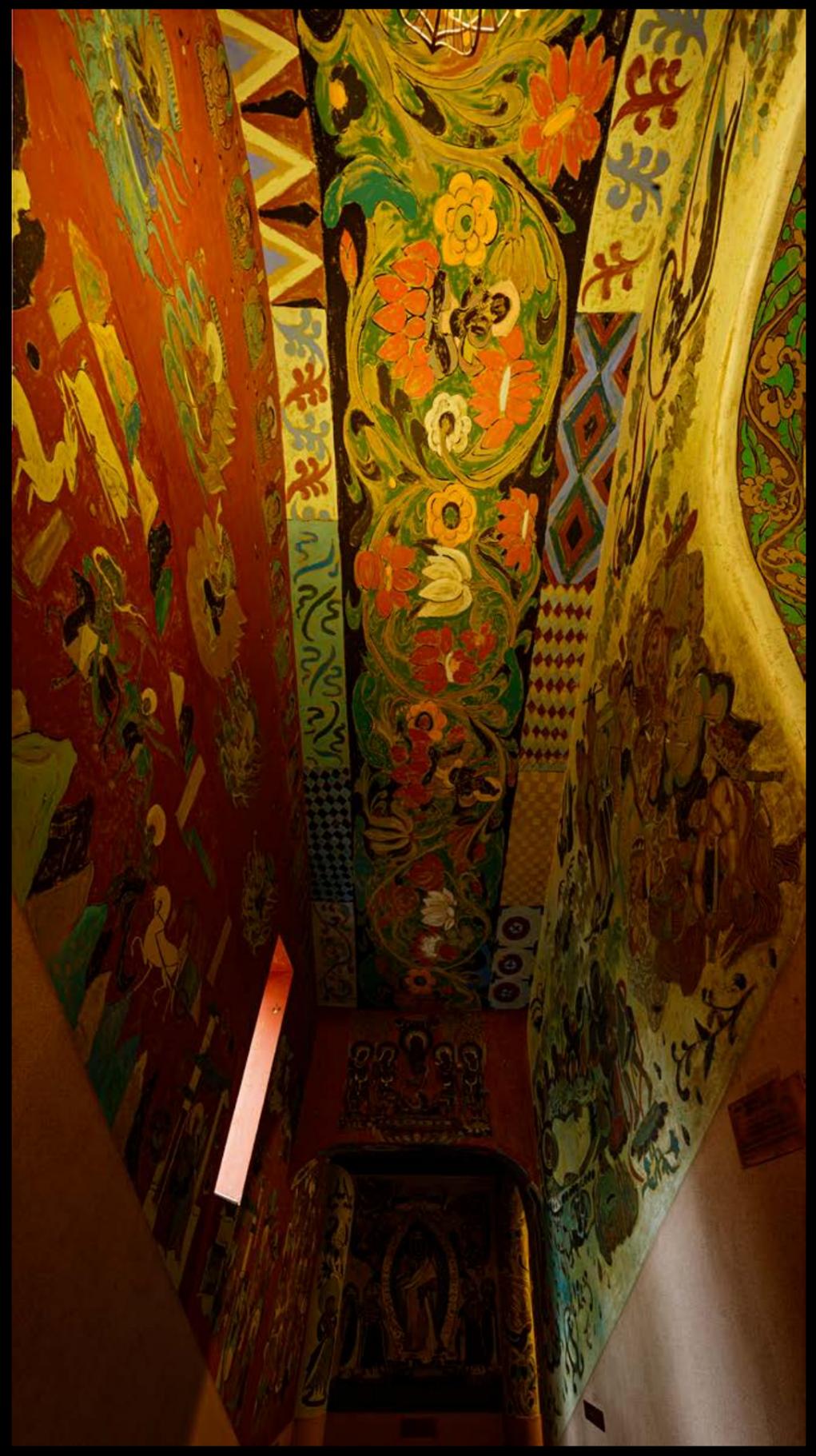
降口側階段



昇口側階段 見下し

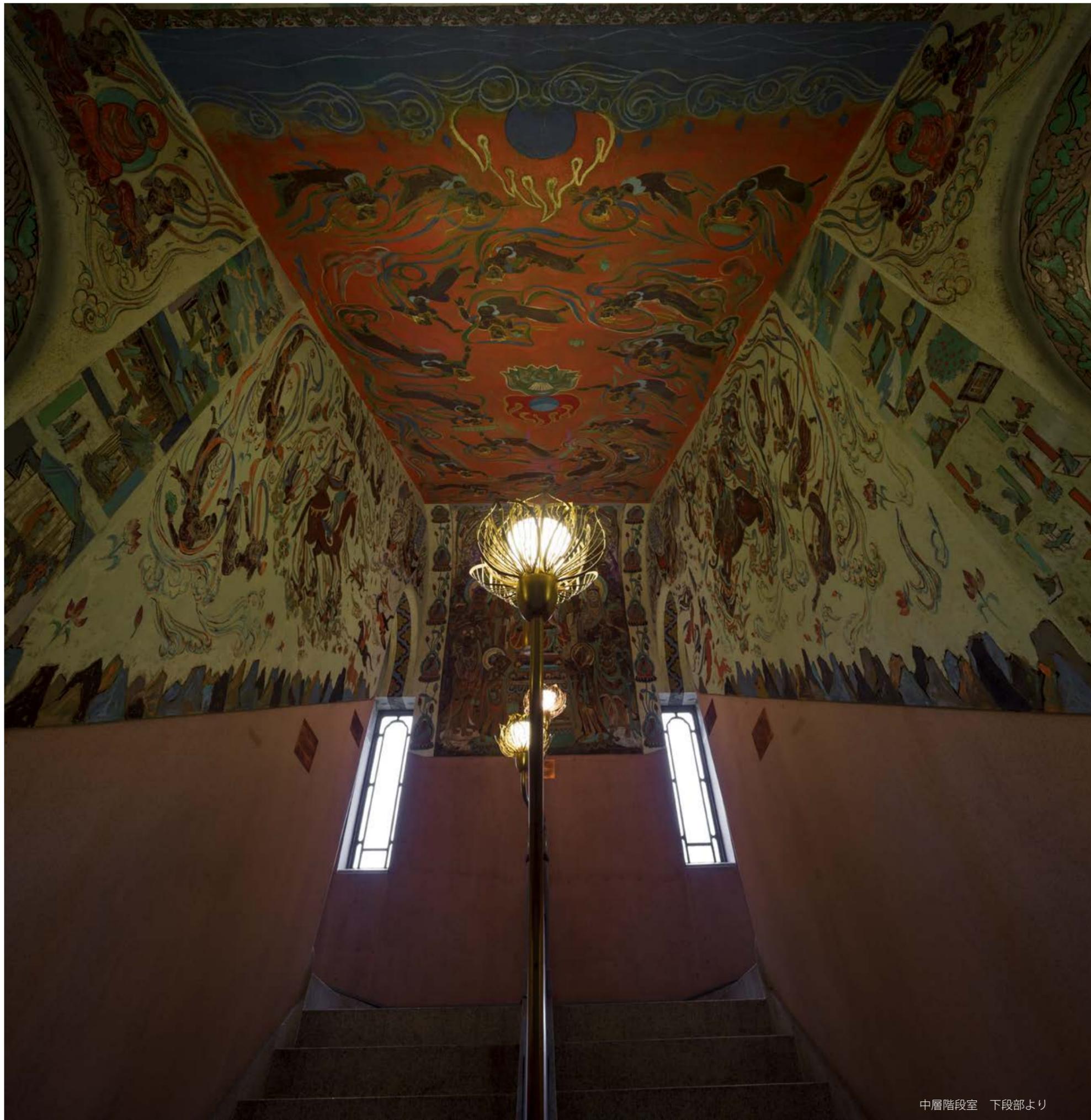


降口側階段 見下し



中層階段室





中層階段室 下段部より

降口階段口



昇口階段口





305號 寶相圖南面 佛龕內(左)佛
CAVE No. 305 (left)
FIGURES OF ALI AND AHU
RIDING VEHICLE WITH EMPEROR

305號 寶相圖南面 佛龕內(右)佛
CAVE No. 305 (right)
FIGURES OF ALI AND AHU
RIDING VEHICLE WITH EMPEROR

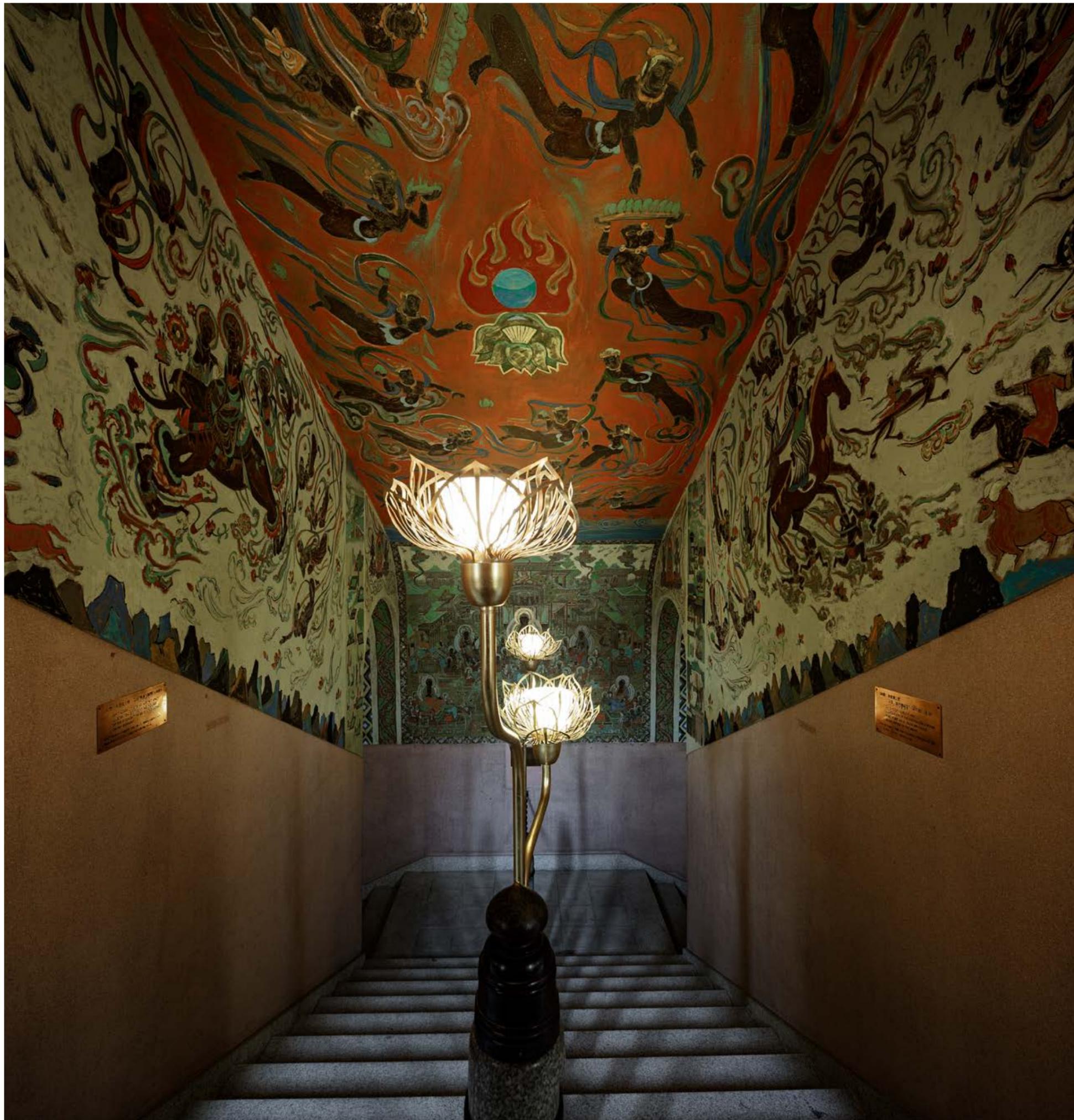
305號 寶相圖南面 佛龕內(左)佛
CAVE No. 305 (left)
FIGURES OF ALI AND AHU
RIDING VEHICLE WITH EMPEROR

降口側階段通路



昇口側階段通路

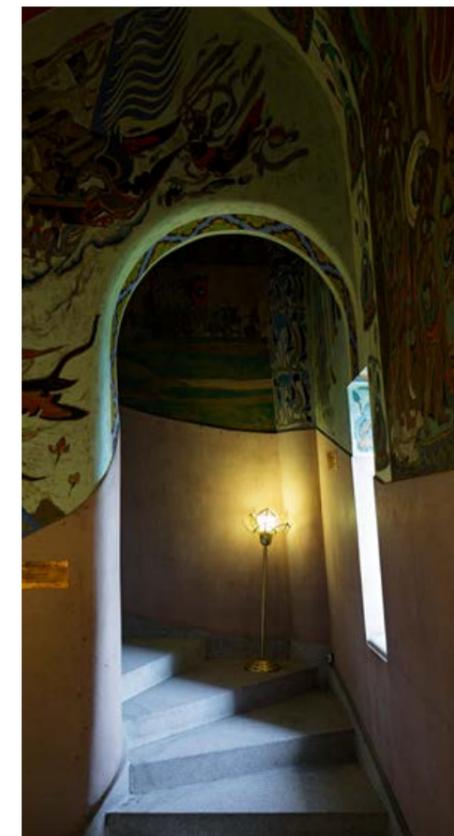




昇口側階段口



降口側階段口



階段 中層部



昇口側階段



ガーゴイル



降口側階段



昇口側階段見下し



降口側階段見下し



降口側階段 上層階段室踊場

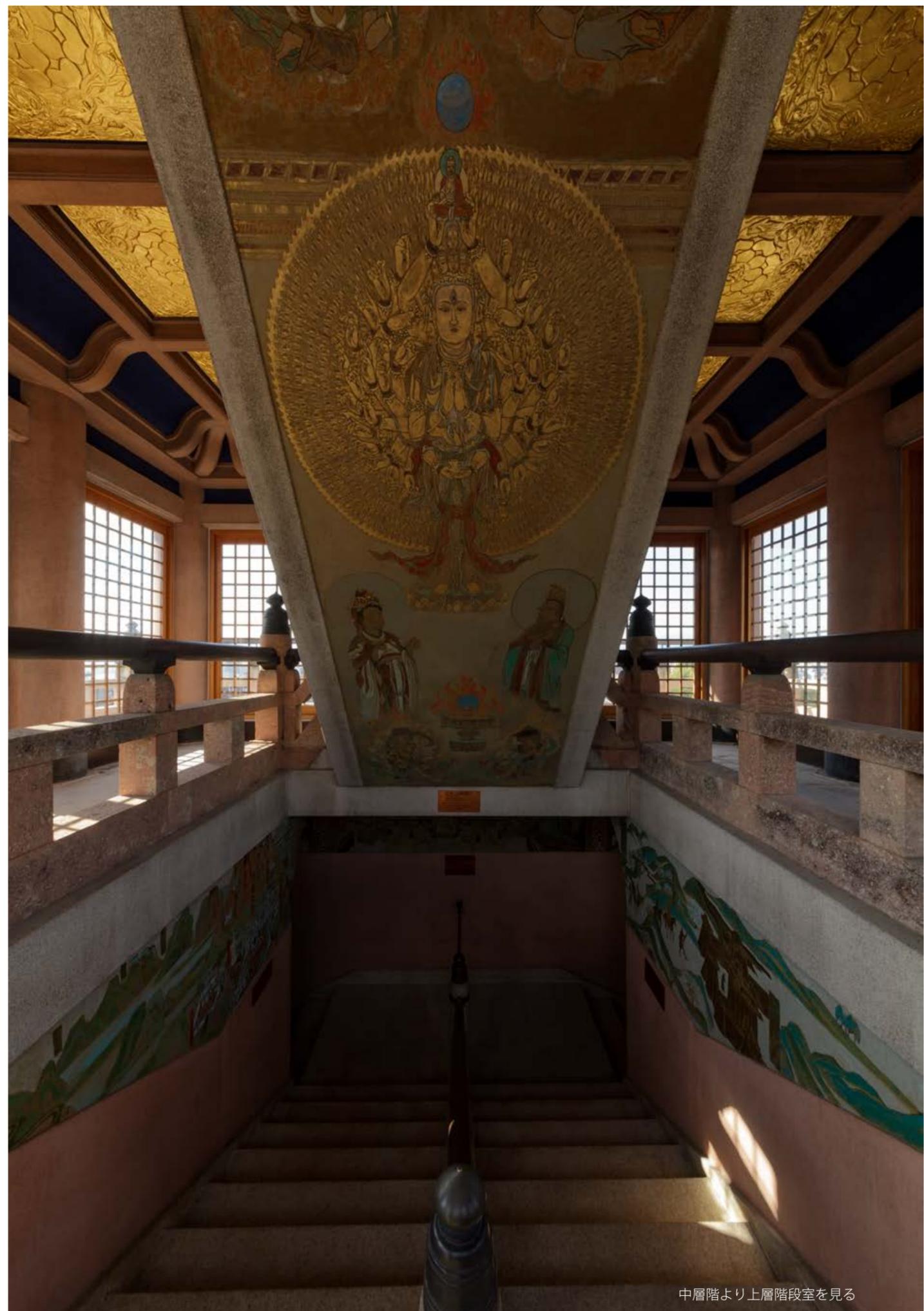
上層階段室



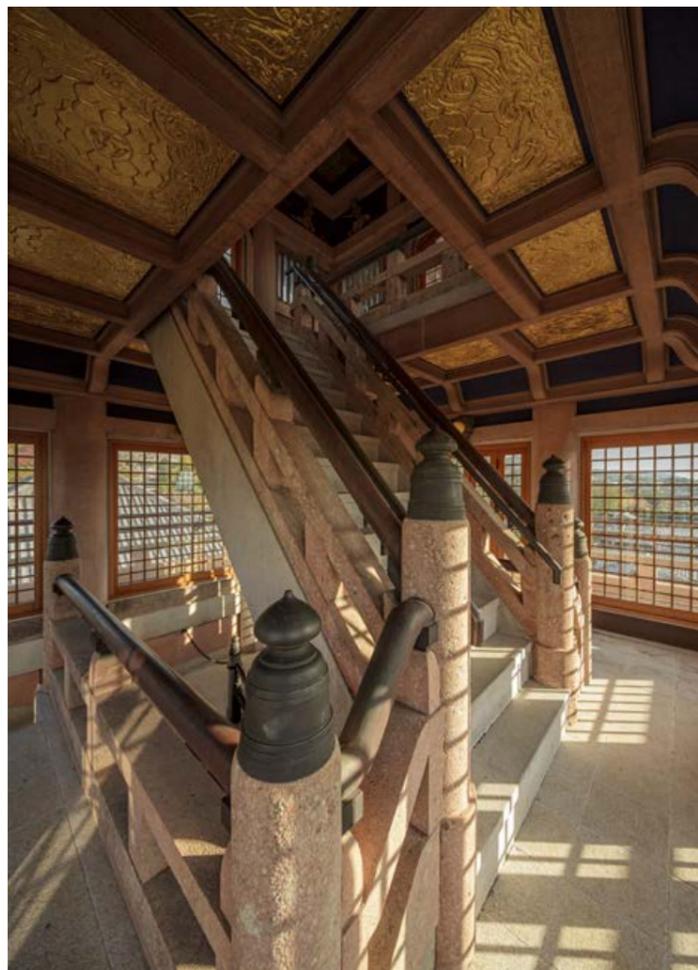
中層階 第二層



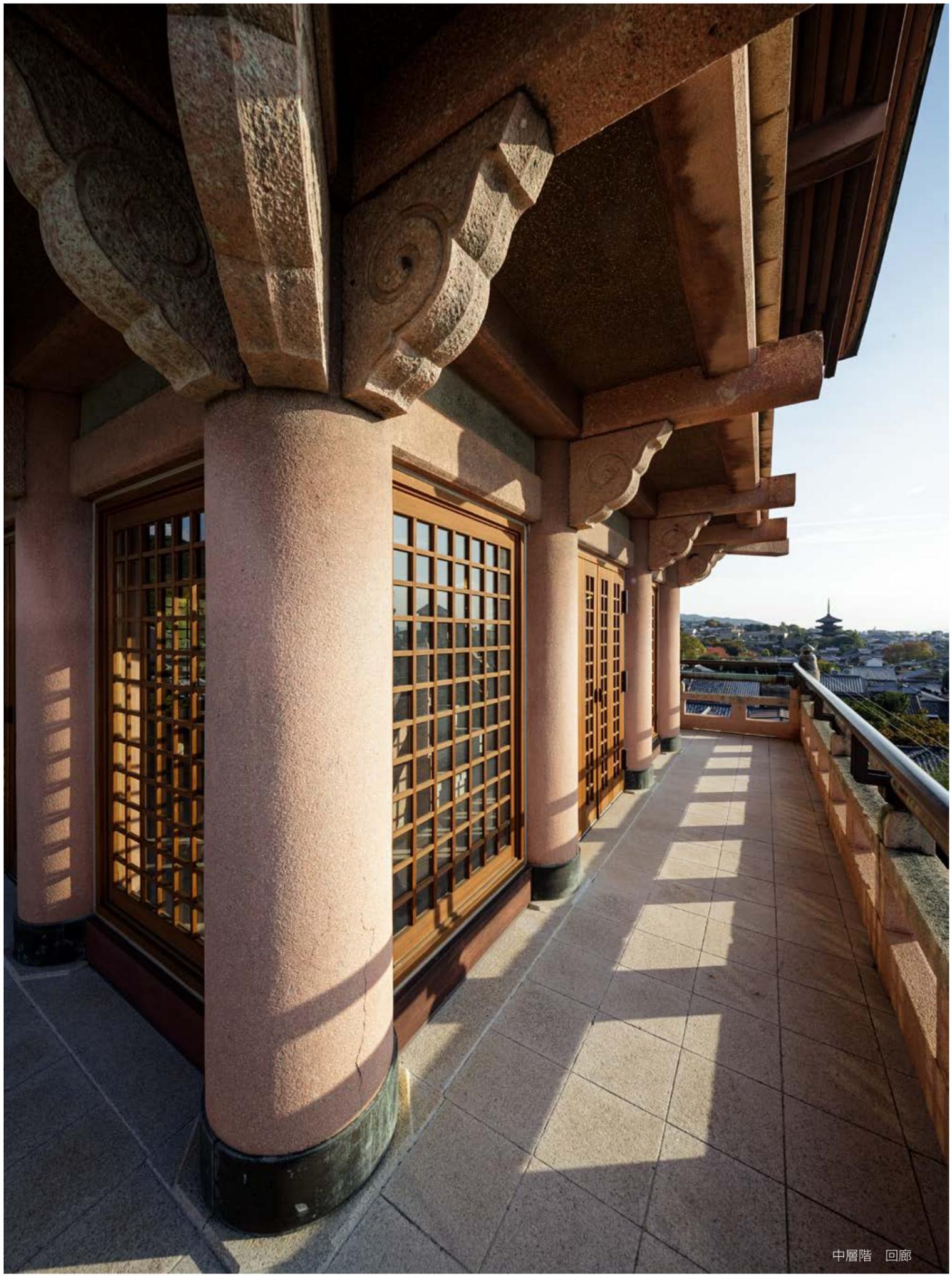
中層階 見上げ



中層階より上層階段室を見る

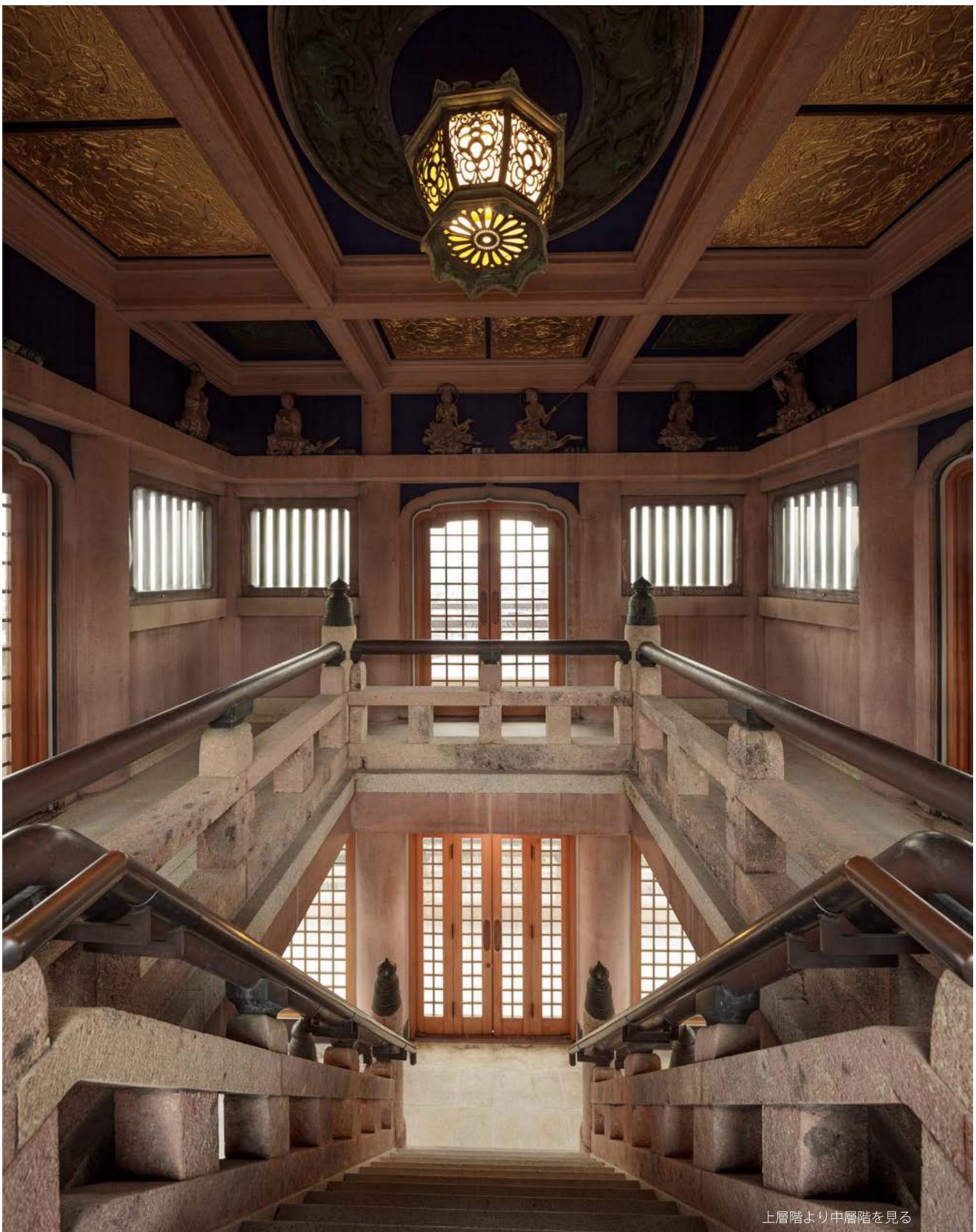


中層階より上層階を見る

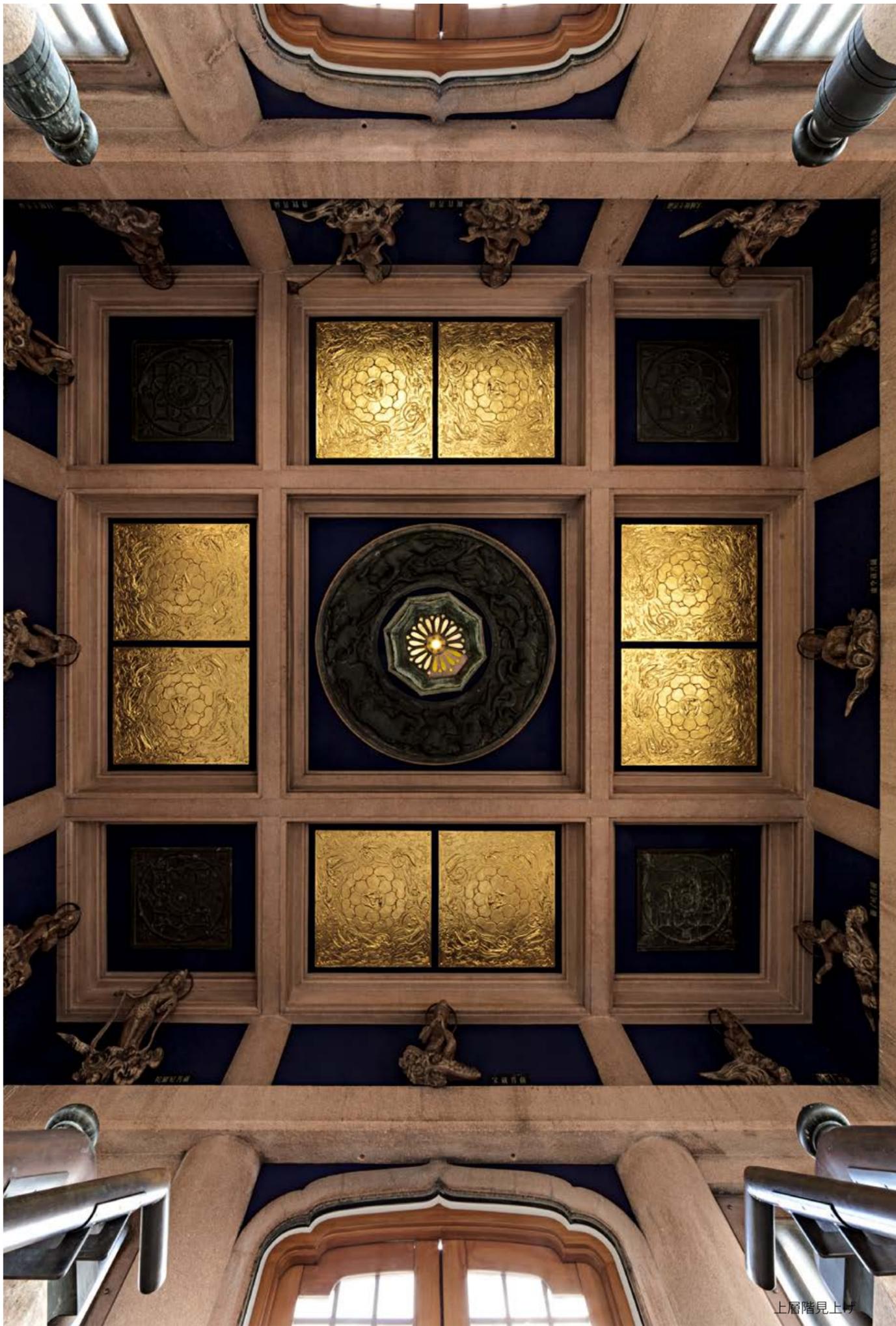


中層階 回廊

上層階 第三層



上層階より中層階を見る



天井中心飾十二支浮彫



上層階見上



中層階 天井レリーフ



中層階 仏像



上層階 天井レリーフ



東方



南方

西方



北方



東大谷墓地より

祇園閣は1927年（昭和2年12月）明治・大正にかけて活躍した実業家大倉喜八郎翁が、建築家で建築史家でもあった伊東忠太博士に設計を依頼し建設した高閣です。（1928年6月竣工との説もあります）

二人の関わりは、東京本所の別邸内に蔵春閣（1912年/明治45年竣工）を建てる為の意見を求めた頃より始まり、大倉集古館（1927年/昭和2年11月竣工）、京都大倉別邸（1928年/昭和3年竣工）、喜八郎翁の墓所（1930年/昭和5年建立）の設計へと続きました。

伊東忠太博士に祇園閣の設計を依頼する最初の話は東京向島の別邸で行った際、喜八郎翁が新潟の新発田で見た、風でオチョコになった番傘の形をした高閣を建てて欲しいと語ったというエピソードがあります。これには独創的な建築物を設計していた博士であっても困り、最終的に祇園祭りの山鉾の形をした高閣を作ることに決まったとのことでした。

1973年（昭和48年）寺町四条南に加藍を擁していた龍池山 大雲院が、祇園閣のあるこの地に移転するに伴い、祇園閣は寺院の伽藍に組み込まれました。そのご龍池山 大雲院創建400年を記念して、1987年（昭和62年）に敦煌莫高窟の壁画が中国人画家 葛新民氏によって模写されています。現在は年に一期間だけの特別拝観日以外一般公開は行われていません。

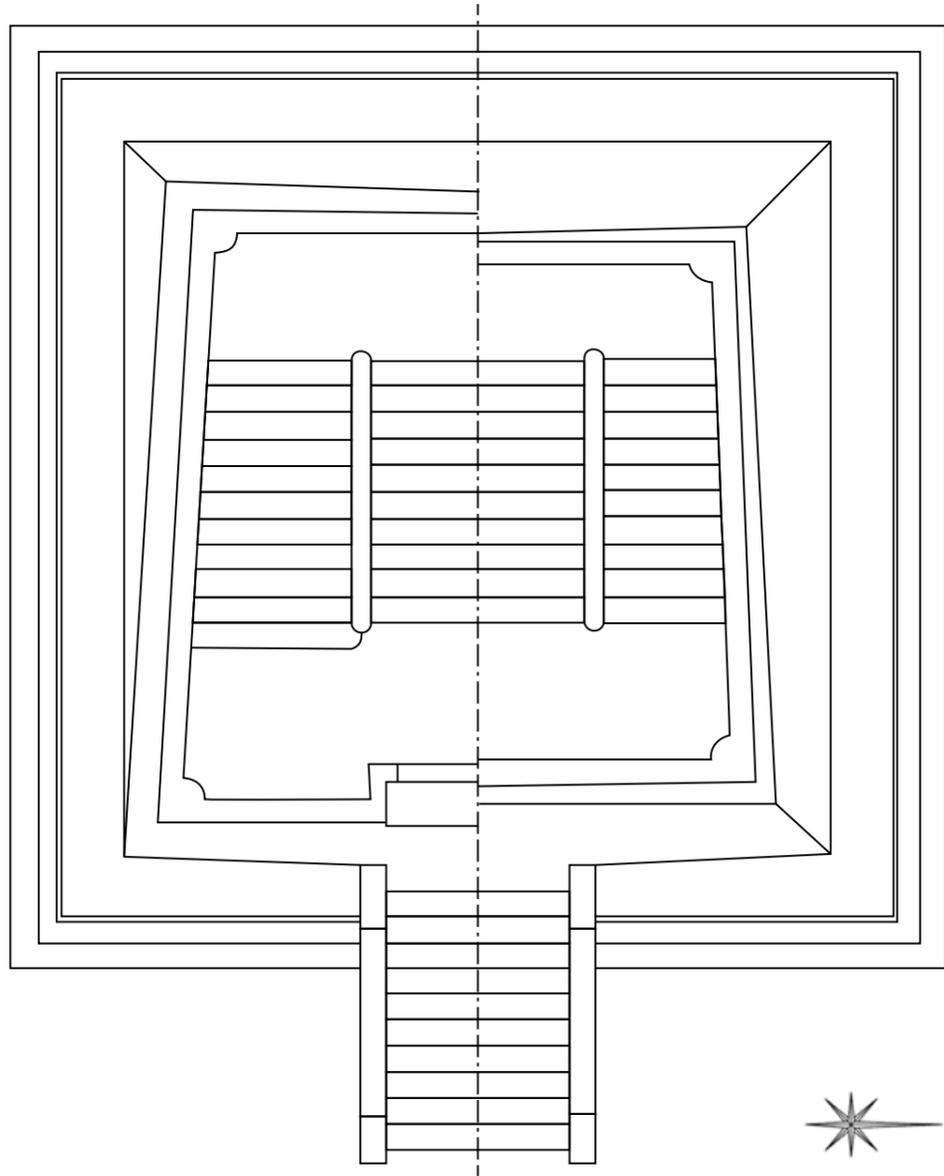
撮影・編集 岩崎和雄 協力 龍池山 大雲院

2013年（平成25年）秋撮影

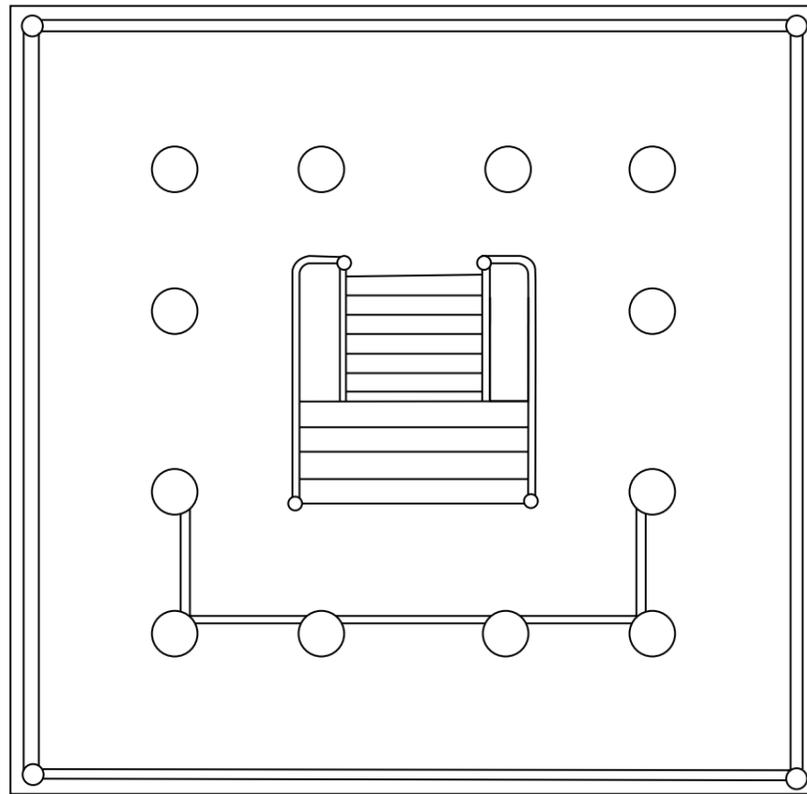


昭和四年五月 大倉喜七郎氏によって建てられた石碑
ここには昭和三年竣工とあります。

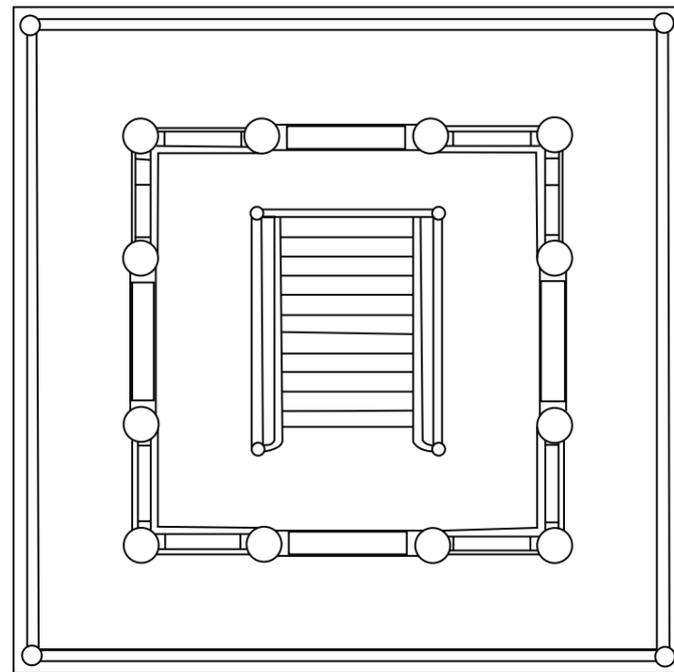
祇園閣 平面図



下層階平面図



中層階平面図



上層階平面図

建築概要	
所在地	京都市祇園町
工事着手	大正 15 年 7 月 5 日
竣工	昭和 2 年 12 月 10 日
敷地面積	1,421.13 坪
建坪	38.34 坪
各階坪数	
下層部	28.45 坪
中層階	23.44 坪
上層階	16.81 坪
建物高さ	
箱棟上端迄	70.50 尺
頂上金鶴頭冠迄	112,000 尺
基礎	深さ三間及下層階部分鉄筋コンクリート造
中層・上層階	鉄骨鉄筋コンクリート造
屋根	銅板葺下地アスベストス モルタイト塗
頂上鶴	青銅製金箔五回押

祇園閣建築記念写真帳に基づく



竣工当時の祇園閣と京都大倉別邸
江崎写真館 撮影